

「万国の津梁」沖縄をめざして

研究会通信

第1号／2016年1月7日
「沖縄・国際物流拠点形成研究会」

(再開港湾研究会)

連絡先／民主党沖縄県連 〒900-0022
那覇市樋川 1-6-12 電話 098-996-5115

沖縄の国際物流拠点形成めざし 「港湾研究会」を地元開催で再開

◇第1回研究会を開く（1月6日）

民主党政権時に、沖縄選出の国会議員が発足させた沖縄の国際物流拠点形成をめざす「港湾研究会」はその後、当時、衆議院議員（内閣官房副長官）の齋藤勁（つよし）氏（現、民主党沖縄県連相談役）が主宰して引き継ぎ、2012年12月、突然の衆議院解散・総選挙で中断していました。

その研究会を地元沖縄で開催する形で、民主党沖縄県連が主催（主宰者：齋藤勁氏）して再開。第1回が1月6日、那覇市で開かれました（2面に研究会開催要綱を掲載）。



1月6日、那覇市内で
港湾研究会再スタート

齋藤勁氏は「沖縄の自然と歴史を大事にしつつ沖縄の地理的特性を活かし、新しい沖縄を作り上げていく時代を迎えた。それは県民が自立して取り組むことになるが、本研究会で調査・研究を踏まえ、課題を提言したい」と抱負を語りました。

◇基地問題を打開、沖縄の将来像示す

また、民主党沖縄県連の花城正樹代表（那覇市議）は「県民とともに基地問題を打開しつつ、沖縄のこれからをつくりあげたい」と開会挨拶。清水マオ幹事長（那覇市議、次の県議選に出馬予定）が研究会のメンバーを紹介し、さっそく報告と意見交換に入りました。

◇国際物流拠点形成の第一歩

第1回研究会では、沖縄県土木建築部港湾課の我那覇生雄課長から「沖縄の国際物流拠点形成に向けた取組みの現況」について報告を受けました（別資料で詳報）。

翁長県政は成長著しいアジアのダイナミズムと連動し、国際物流拠点の形成を



那覇港、ガントリークレーンを増設

目指し、那覇港はガントリークレーンが増設され、港湾整備を急ぎ、中城湾港では、ものづくり産業の集積事業を進め、九州主要港との定期航路の開設の実証航路も成果を上げている。本島北部の拠点港・本部港の整備はほぼ終了し、5万トン級客船の接岸が可能に。

◇重要港湾の整備進む

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課の花田祥一課長から沖縄県内の重要港湾の整備状況について説明していただきました。（別途詳報）

◇2018年に「やんばる」の世界自然遺産登録を実現したい

先の研究会では本島北部一帯の世界有数の亜熱帯樹林「やんばるの森」の世界自然遺産登録を急ぎ、整備が進む本部港とリンクした一大国際観光地形成構想が示されました。

今回は環境省那覇自然環境事務所国立公園課の濱名巧太郎課長から「やんばる」を含む「奄美・琉球」の世界自然遺産登録をめざす精力的な取組みを報告してもらいました。（別途詳報）



世界唯一の亜熱帯照葉樹林（環境省提供）

◇山原船（マーラン船）の復活を

オブザーバー参加の玉栄彰宏氏（県振興審議会委員）から中城湾港での山原船（マーラン船）の復活の提言もあり、整備が進む港湾をいかに活かすかの議論を深めました。

（次ページへ）

《沖縄・国際物流拠点形成研究会》

1、趣旨・目的

- ①翁長雄志沖縄県政の「発展する東アジアをにらんで沖縄を国際物流拠点にしていく」という方向を後押しします。
- ②そのためには那覇空港の国際物流ハブ事業と連携した沖縄の港湾における国際物流拠点の態勢整備を急がなければなりません。
- ③民主党政権時に「東アジアの物流拠点としての沖縄の港湾の現状と課題研究会」の『提言』および「沖縄・国際物流拠点形成研究会」の『中間報告』で沖縄の国際物流拠点形成構想や政策課題等が提起されています。
- ④本研究会は、地元沖縄での開催という形で先の「研究会」を再開し、その『提言』および『中間報告』が、関係先でどのように受け止められ、実施あるいは展開されているのかなどを学びつつ、各機関の取組みの問題点や今後の課題を把握して、合わせて関係先の実情調査や意見交換を実施するなどして、沖縄の国際物流拠点形成に向けての政策課題等を、あらためて取りまとめて、沖縄県をはじめ関係自治体や国の関係機関、関係議員等に報告、提言するものとしします。

2、名称： 沖縄・国際物流拠点形成研究会
(略称「再開港湾研究会」)

3、主催： 民主党沖縄県連

- ①民主党沖縄県連相談役の齋藤勁氏が主宰し、研究会メンバーは、本県連の役員および自治体議員で構成します。※事務局は県連内。
- ②オブザーバーとアドバイザーも出席。

4、相談役・関係国会議員

- ◇参議院議員・藤本祐司(参議院沖北委所属 /元内閣府副大臣)
- ◇衆議院議員・近藤昭一(元環境副大臣)
- ◇参議院議員・田城 郁(沖縄鉄軌道議連)
- ◇参議院議員・難波奨二(日本郵政労組出身)
- ◇衆議院議員・大島 敦(改正沖振法制定時の超党派議員会議座長)
- ◇衆議院議員・小川淳也(同上事務局長)

※上記の国会議員には研究会や視察等への出席、随時の助言・意見、関係省への資料提供や講師手配での助力、報告取りまとめの際の意見聴取などに協力していただきます。

5、期間：2015年12月～2016年4月

6、活動内容およびスケジュール：

(1) 活動の概要：

- ①研究会の開催(沖縄開催、一部、東京開催)
- ②港湾等の現地視察(研究会と併行して実施)
- ③関係先からの意見聴取および関係団体との意見交換の開催
- ④ニュースの発行(毎研究会の報告)
- ⑤「提言」実行へ県民との意見交換会・シンポジウム等の開催
- ⑥「提言」の取りまとめ(4月末頃を予定)

(2) 研究会のテーマ：(順不同)

- ①本部港と世界自然遺産登録めざす「やんばる」をリンクした一大国際観光地の形成
- ②那覇港、中城湾港の整備の進捗状況と九州各港との航路開設の現状と課題
- ③国際物流をめざす県内の製造業・加工工場等の企業誘致の現状と課題及び海と空の物流連携および県内交通網の構想と整備促進
- ④国際物流拠点形成の港湾整備に向けた予算・税制改正・規制緩和等の課題

※テーマのレクチャーや現地案内等について、沖縄県(土木部港湾課および企業立地推進課長ほか)、内閣府沖縄総合事務局(港湾空港部港湾計画課)、那覇港管理組合(企画建設部)、環境省(環境省那覇自然環境事務所・国立公園課)などにご協力いただきます

7、スケジュール(予定)

- ◇1月6日/第1回研究会
「これまでの研究会の総括と今後の予定」
- ◇1月末/第2回研究会及び現地視察
「本部港、やんばる」
- ◇2月半ば/第3回研究会及び現地視察
「那覇港、中城湾港」
- ◇3月初め/第4回研究会
「税制改正、規制緩和等」
- ◇3月末/第5回研究会
「業界団体等との意見交換会」
- ◇4月初め/第6回研究会
「関係国会議員の意見聴取」於、東京
- ◇4月下旬/第7回研究会
「提言の取りまとめ」
※提言案は4月半ばに策定し、関係者(先)の意見等を聴取し集約。
- ◇5月半ば……県民シンポジウムの開催を予定(提言と実行の呼びかけ)。

